



大いちょう

令和8年1月7日
岐阜市立加納幼稚園
園長 藤井 佐由美



あけましておめでとうございます！！

冬休み前の終業式に、子どもたちに約束をしました。それは、『あたまも からだも いっぱいつかって おもいきり あそぶこと』ただ一つです。ちゃんと約束が守れるように、魔法をかけておきました（牛乳が消えて、キラキラの紙吹雪になる魔法です。）が、その効果はあったでしょうか。

年末年始は、おじいちゃん、おばあちゃんの家に遊びに行ったり、初詣に行ったり、お餅を食べたり、どこかに旅行に行ったりしたのでしょうか。冬休み明けの、子どもたちの楽しかった経験等を聞けることを楽しみにしております。



私の家では、近年、年賀状やおせち料理などの日本古来の文化的な行事はしなくなり、お正月気分を存分に味わうというよりは、のんびり過ごすというものになっています。

でも、12月31日には、大晦日特別歌舞伎座にて舞台挨拶を全国の映画館で生中継というイベント付の「国宝」を観に行ってきました。3時間にわたる長編映画でしたが、話の展開が早くあっという間に終わってしまいました。実際は、4時間半あったものをカットしているそうです。

感想を一言でいっていれば、やはり「日本文化の美しさ」でしょうか。

監督の李 相日（り・さんいる）さんが、どうしてこのような映画を制作したのかが気になって少し調べてみました。李監督は、1974年1月6日、新潟県生まれ。神奈川大経済学部卒業後、日本映画学校（現日本映画大）入学。代表作には、2006年「フラガール」、2010年「悪人」、2016年「怒り」などがあり、2022年「流浪の月」では初の監督賞を受賞しています。ちょっと驚きました。なんと代表作全てを鑑賞しておりました。

映画「国宝」は、1年半の年月をかけて、歌舞伎や日本舞踊の稽古を重ね、映画は制作されています。李監督は、「なぜ、そこまでやるのか？」という質問に対して、「そこまで、完璧に自分を信じているわけではない。どこか、これでいいか？というところで止まると“これでいいか映画”ができるという確信がある。恐怖心も、あるかもしれない。」と答えている。そのうえで、「例えば…映画って、目をつぶってバットを振って、ホームランには、絶対にならないんですよ。最終的に、できあがったものには、やったものしか映らない。それを乗り越えていかないと、これが見たかったんだ、というものに

は行けないということ」と答えていた。映画もドラマも、配信サービスが充実する世の中で、映画館に足を運んででも観たい映画をつくるということはこういうことなのかと感じました。それなのに、私は、年始に配信サービスのドラマや映画を観続けてしまいました。(苦笑)

この映画では、二人の男が柱になっており、その二人の間にある「血筋と芸」の問題が取り上げられています。このどうしようもない、不条理なものを、互いに苦しみながら乗り越えようとする様が美しく、時に切なく描かれています。

なかなかゆっくり映画を観る機会も少ないかと思いますが、この映画は、日本の伝統文化の美しさを教えてくれます。また、エンディング主題歌「Luminance」には、King Gnu の井口理さんが歌唱参加しており、この歌声もまた映画を盛り上げてくれる効果が大きいです。

話は飛びますが、年末にはそれ以外にも、長崎の軍艦島と五島列島（福江島）にリフレッシュ旅に行ってきました。軍艦島は、以前から行きたいと思っていたのですが、2024年日曜劇場「海に眠るダイアモンド」を観てから、更に行ってみたい気持ちが高まりました。軍艦島はもちろん、期待以上によかったのですが、ここでは、「国宝」李監督にちなんで、五島列島（福江島）のことを書きます。2010年「悪人」は、この五島列島（福江島）南西端の岬、東シナ海に突き出した断崖絶壁に立つ大瀬崎灯台で撮影されています。そのことを知っていたので是非、本物を見てみたいと思ったのです。私は、観ておりませんが、福江島は、2023年NHK連続テレビ小説「舞いあがれ」のロケ地でもあります。

というように、2025年の締めくくりには、李監督の作品に心を動かされていたわけです。美しい景色、美しい作品のおかげで心が浄化されました。

さあ、3学期も思い切り楽しみましょう。



《1月の保育について》

【3歳児】

<ねらい>

- いろいろなお正月遊びに興味をもつ。
- 気の合う友達と一緒に同じ遊びをして楽しむ。



【4歳児】

<ねらい>

- 自分なりの表現を楽しんだり、いろいろなことに挑戦したりする。
- 友達の思いを聞いて理解しようとする。

【5歳児】

<ねらい>

- 友達と考えを出し合いながら遊びを進めることの楽しさを感じる。
- クラスのみんなで一つの目的に向かって取り組む楽しさを味わう。



お知らせとお願い

○預かり保育の利用者負担額について

預かり保育の利用者負担額は、

現在、平日1回：150円、長期休業中1回：400円で運用しております。しかし、昨今の物価高等を鑑みて、今後は、利用者負担額の値上げをする予定です。金額が正式に決定しましたら、改めてお知らせします。どうぞよめご了承くださいますようよろしくお願ひいたします。

預かり保育の申込は、原則、前月の20日までの締め切りを厳守してくださいますようご協力をお願いいたします。

公立幼稚園の預かり保育は、国の補助を活用して運用しております。そのため、『岐阜市立幼稚園一時預かり事業実施要綱』に基づいており、申込書は

様式第1号（第5条関係）と指定されております。申込書が提出されると、「利用決定通知書」が発行され初めて利用が認められます。また、利用人数による「おやつ」の準備もあり、予算の関係で特に3月は見込み人数を確定していかなければなりません。

また、利用後に「利用者負担金」を納入していただくことになっておりますが、支払いが繰り返し遅延するようなことがありますと、市役所から「督促状」が届くこともあります。これを踏まえて期日までにお振込みをしてくださいますようよろしくお願ひいたします。

○令和8年度以降の学習費について

令和7年10月に、PTA会費が、令和8年度より700円になることを書面総会で確定をおこなったところですが、それに伴い、当初よりお知らせしていましたように、令和8年度からは、学習費を1200円とさせていただきます。

こちらも昨今の物価高騰の波と、園児数減少の影響により、「子どもの遊びや生活に関わる学習費」の値上げをさせていただく運びとなりました。質の高い保育の継続のために、日々生まれてくる子どもの『問い合わせ』を叶えるべくご理解、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

令和7年度までは、PTA会費900円+学習費1000円=1900円でしたので、徴収合計金額は、令和8年度も変わらず、PTA会費700円+学習費1200円=1900円となります。